

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

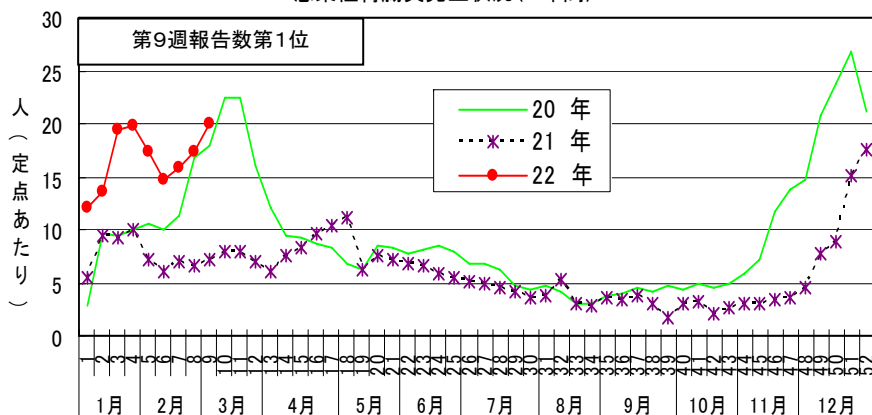


KAWASAKI CITY

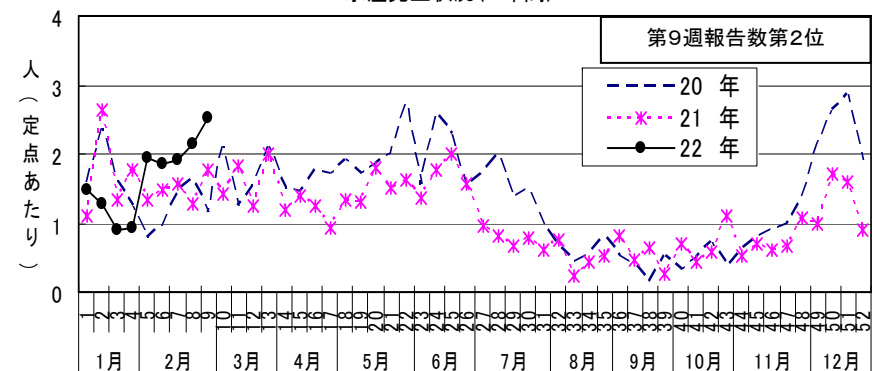
平成22年3月1日（月）～3月7日（日）〔平成22年第9週〕の感染症発生状況

第9週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 水痘 3) インフルエンザとなっています。
 感染性胃腸炎が定点あたり20.06人と患者報告数は増加しており、区別では多摩区で定点当たり44.40人と多くの報告を受けております。また、過去10年の第9週をみると、今年がもっとも多い定点あたりの報告数となっております。
 インフルエンザは、定点あたり1.38人と6週連続で患者数が減少しています。水痘の患者数が前週に引き続き増加し、インフルエンザの患者数を上回りました。
 今後はインフルエンザや感染性胃腸炎以外の疾病の動向にも注意が必要です。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)



感染性胃腸炎に注意しましょう！！

第9週の感染性胃腸炎の報告数が流行発生警報基準値である定点あたり20人を超えたため、川崎市内に感染性胃腸炎の流行発生警報を発令しました。過去10年のデータと比べても、第9週に警報基準値を超えている年はありません。今後、これ以上の流行がまん延しないように、一人一人が感染しない・感染させない対策に努めましょう。

主な原因ウイルス

ノロウイルスによるもの

2歳以下の乳幼児に感染しやすく、便が白色の水様便になることから白色便性下痢症とも呼ばれています。

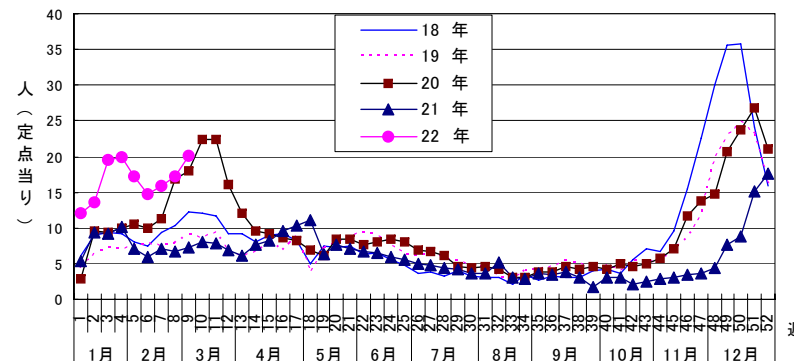
ロタウイルスによるもの

貝類等の生食により感染する事例が多く、主に吐き気、嘔吐があり、下痢、腹痛なども伴います。

主な感染予防対策

- ①二枚貝等の生食には注意し、加熱が必要な食品は中まで加熱（85℃で1分以上）して食べるようにしましょう。
- ②患者さんの便や嘔吐物、それに汚染された手指、水、食品などを介して経口感染するので、手洗い・うがいを徹底しましょう。
- ③便や汚物を放置してしまうと、乾燥して空气中に舞い上がり、それが口に入ることによって感染することもあります。患者さんの便やおむつ、吐物は乾燥しないうちに早めに片付けましょう。
- ④また、必要に応じて家庭用塩素系漂白剤（※次亜塩素酸ナトリウム）などで消毒してください。※漂白作用があるので使用の際にはご注意ください。

感染性胃腸炎発生状況(5年間)



油 断
 手洗い 消毒
 食品の加熱
 大 敵



手洗いが基本です